

小中一貫校 茅野市立永明中学校令和7年度 グランドデザイン 4月

茅野市「縄文のビーナスプラン1」 ～みんなが縄文のビーナスのように輝くことを願って～

「みんな同じ」から、多様な価値を認め合い、一人が輝き、みんなが輝く学校をめざします

永明中学校区の特色ある教育(探究的な学び:「縄文のビーナスプラン2」

～読書図書館教育と探究的な学び メディアセンター・図書館を核とした小中一貫教育への挑戦～

永明中学校区 わたしたちがめざす子ども像は

「相手に生きる私」

相手の気持ちや立場になって考え 相手の生き方の中に自分自身を高めることのできる私

学校教育目標「響き合い 磨き合い 誠実に生きる」

同世代・異年齢の友だちとの学びや地域の方々と共に活動する中で、本校の精神「自分の頭で考え、判断し、行動する」をベースに、互いに思いを受け止め、切磋琢磨し、判断力ある自律した生き方をめざします。そこには、「相手に生きる私」がいて共に、雲母が輝く縄文のビーナスのように、一人ひとりが輝き、みんなが輝く学校がきっとあると考え、学校創りをしていきます。

「相手に生きる私」に向かう永中の学び

授業の充実 授業改善

○子どもが夢中になる授業を追求します

・ゴールがはっきりした授業の充実: 授業改善

○個で考える場、共に考える場のメリハリを大事にします

・単元内自由進度学習、グルーピング等の工夫

○ICT をより積極的に活用します

・週末課題やテストへの活用等積極的な工夫

○スマートな導入(45分授業)とスタディタイムでこれからの学びに対応していきます

・予習や振り返り学習の充実

・教科相談、教え合い、探究的な学びなどスタディタイムの活用で分からないことをそのままにしない学習方法の習得

～R7年度: 授業改善、学びの集団づくり、探究的な学びに特に力を入れます～

心と言葉を育てる読書図書館教育

○「知の宝庫」「交流の基点」としてのメディアセンターを最大限有効活用します

・探究的な学びの充実 調べる学習等

○「読書教育・人権教育・交流活動」を通して心を耕します

・朝読書の充実、家読の推奨

・自己肯定感を高めたり多様な価値を認めたりする心を耕す人権教育や道徳教育

特別支援・生き方教育(キャリア教育)

○生き方教育(キャリア教育)を充実させます

・「人・物・事」との出会いから生き方へ(ジョブギャラリー、職場体験学習等)

○個の背景に思いを寄せた特別支援教育へ

・生徒の思いに寄り添い、多様な学びの場や学び方を大事にした支援(NINOの活用)

・まなざしルーム、フリースクール等と連携

○全職員で見守る温かな学校づくりをします

・全職員で行う教育相談

・NINO(認知検査)を活用した生徒支援

・いじめ防止対策推進法の遵守

生きる力を高める、縄文・市民科(探究的な学び)

○小中の接続した探究的な学びを構築します

・「自分が解決しなくては」という自分事の問いを基にした探究的な学習

・協働的な学びと振り返りの繰り返しパターン

・探究発表会における外部評価と発信力強化

・キャリアパスポート、調べる学習の充実

学びの集団づくり・体育・健康・食育

○行事を通して自己肯定感を高めます

・生徒が「自分たちで創った行事」を実感できるようにする

○食育や人間関係づくりを充実させ、心と体を健康に育みます

・入学時のリレーション、Q-U検査の活用、(仮)紡ぎの時間(ソーシャルスキルトレーニング)、情報モラルの徹底、「食育」を通じた食と健康教育

地域づくりへの参画、CSとの連携

○生徒会活動や縄文市民科を通して地域の一員として社会参画できる中学生をめざします

・CSと連携し地域とのつながりを大事にしてい

・教師は、生徒がより充実感や達成感を高められるよう支援

【永明中学校区小中一貫教育推進の7本の柱】※永明中学校区として、7本の柱をベースに小中一貫教育を進め、新たな学校を創造します。

A 読書図書館教育: 言葉を耕し、心を豊かにする小中一貫の学び構築

B 縄文・市民科: 「探究」を軸とした小中一貫の学び構築

C 個別最適な学びと協働的な学び: 多様な子どもに柔軟な学びの場の充実 D 生き方教育: 自分の生き方を探り、自分たちが生きていくまちの未来を思い描く教育を小中9カ年で E 心の教育: 子どもたちの心を耕し、心の4つ葉のクローバープランの充実

F 体育・健康スポーツ: 食育など小中で連携した健康教育 G 地域づくりに参画する子ども(地域参画部): 地域の方と共に地域づくりに参画する